

令和8年熊本地震災害義援金の募金箱設置

#熊本支援

令和8年7月28日(火)に発生した熊本地震災害の一日も早い復旧・復興を願い、募金箱を設置します。

- ◆ 設置期間 令和8年7月29日(水)から当面の間
- ◆ 設置場所 奥玉市民センター1階ロビー(窓口)
- ◆ 義援金の送付先 日本赤十字社を通じて被災地へ届けます



NPO 法人響生(ひびき)灯籠作り出前講座 7/30

NPO 法人響生(ひびき)(杉山浩理事長)との交流実践として、7月30日に奥玉市民センターの出前教室が行われました。夏休みを迎えたリトル・ピースの子どもたちのもとに市民センター職員2名が出向き、10名の子どもたちに作り方を指導しながら一緒にふるさとまつりで飾る「灯籠作り」を楽しみました。

スタッフに手伝ってもらいながら、リトピーの鳥さんマークなど赤・青・黄の「ひびきカラー」のパーツを和紙に貼り付け、思い思いの作品に仕上げていました。

完成した作品は、手にもって一人一人記念撮影。「きれいだね」「簡単にできた」など感想もいただきました。杉山理事長は、「出前講座は、とても有難い。子どもたちにとっても集中した有意義な時間でした」と感謝していました。



集中してパーツを和紙に張り付ける受講者

第19回一関市千厩地域シャフルボード大会 花貴自治会チーム(男子)が優勝！ 6/28

去る6月28日(日曜日)に千厩体育館で開かれた第19回一関市千厩地域シャフルボード大会で、奥玉地区から唯一出場した花貴自治会チーム(男子)が見事優勝しました。

この大会は、世代間交流の促進や心身のリフレッシュ、健康で明るい地域形成を目的に、一関市スポーツ協会などが主催したもので、男子11チーム、女子8チームの合わせて19チーム、120人が参加。男女2チームが出場した花貴自治会は、第2回大会で第4位(敢闘賞)に入賞していますが、久しぶりの出場での優勝でした。

「花貴」のゼッケンを胸に出場した選手たちは、千厩維新館での事前練習も行っており、今回は意気込みとチームワークの勝利でした。



優勝した花貴自治会チーム(千厩体育館)

令和8年8月中旬～9月初旬の主な行事予定

日	曜日	時間	行事内容	場所等
15	土	18:00	第54回奥玉ふるさとまつり	奥玉市民センター前庭
26	水	9:00	奥玉地区交通安全スローイングビンゴ大会	千厩維新館
27	木	8:20	せんまや里山塾「食べて健康コース③」(移動研修)	宮城県大崎市方面
27	木	13:30	四季を楽しむ「俳句講座①」	千厩市民センター
29	土	12:40	学びの土曜塾④「紙すき・船下り体験」(移動研修)	東山町 梶鼻溪
30	日	12:30	とびがもり水車音楽祭	飛ヶ森キャンプ場
5	土	14:00	健康スポーツ教室②「薬膳・漢方講座(仮)」	奥玉市民センター
9	水	9:30	あらたまウォーキング⑤「三沢～宝築コース」	三沢自治会館集合

当謝方めあ会ら高表高ニりしなり千
日！々、り場灯れ齡彰橋県台ま五十厩
はにふまで籠て者静公もした十夏
晴にるし延づい受主民カたがなま
天の支るた百くすでま査館ヤがを越
であえさとた。くす。のた。大を
れらら花二出。のた。大を
のつ火十前。のた。大を
会い協名講め。のた。大を
もは賛の座で。のた。大を
開は多者参に。のた。大を
催すくも加は。のた。大を
中、感の含が九せらて

編集後記

奥玉歳時記 花火 はなび

奥玉ふるさとまつり花火協賛金の御礼
花火の協賛金の募集状況は次のとおり
です。(令和8年7月31日現在)

- ◆ 協賛金提供者数 210名
 - ◆ 協賛金の額 1,736,000円
- ご協賛いただきました皆様大変ありが
うございました。

協賛いただいた方々のご芳名は、別途
配付のまつりチラシでご紹介します。

(第54回奥玉ふるさとまつり花火実行委員会)



“笑顔と自然”あふれる奥玉 ～守り・創り・育てる～

奥玉振興協議会だより Okutama News

第 112 号
令和8年8月10日
発行:奥玉振興協議会
事務局*奥玉市民センター内
電話:0191-56-2950
FAX:0191-56-2906

第54回 奥玉ふるさとまつり 8/15(土)開催

テーマ『奥玉1300年～未来への夏』 18:00～20:30

- ◆ 手作り灯籠・吹き流しの展示 ◆ 子ども太鼓の演奏 ◆ 地区民参加の盆踊り ◆ 一関サークルバンド演奏
- ◆ 特別ゲスト「レイアロハ」の皆さんのフラダンスショー ◆ JLC ショップ ◆ グルメ広場
- ◆ お楽しみ抽選会 ◆ 夜空を彩る打ち上げ花火 など 多くの皆様のご来場をお待ちします

令和8年度移動市長室 ***** 奥玉市民センターを会場に 「シニア世代の交流の場づくり」について和やかに懇談 R8.7.16

今年度の移動市長室(千厩支所)「市長と市民との懇談会」が7月16日に天ヶ森自治会の皆さんを対象に奥玉市民センターで開かれました。

この日は、佐藤善仁市長のほか、菅原由幸千厩支所長など支所関係課職員7名、天ヶ森自治会からは千葉浩会長をはじめ女性部員など6名と奥玉市民センターから村上所長が参加して懇談会が行われました。

懇談のテーマは、「シニア世代の交流の場づくり」で、今年度市の補助事業活用第1号として、ハンドベルを購入し活動している天ヶ森自治会の皆さんとの懇談となりました。



佐藤市長との懇談(奥玉市民センター)



ハンドベル演奏を披露した皆さん(ひなた苑、右端が市長)

参加者からは、活動に対する思いや感想のほか、市長への率直な要望や意見なども話し合われました。佐藤市長からは、「本日の参加者は、若い方々が多く、奥玉地区のいきいきとした活動がうかがえる。シニア世代を対象とした補助事業は初年度なので、対象や範囲は今後も検討したい。今年度は、各センターや集会所の備品を整備し、交流の場づくりに活用して欲しい」と話がありました。

懇談会の前段として、市長は「ひなた苑」を訪問し、天女ベルの会の皆さんと一緒に、施設入所者にハンドベル演奏を披露しました。

てんにょ 天女ベルの会 ミュージックベルでシニア世代の交流 天ヶ森自治会

天ヶ森自治会(千葉浩会長)では、今年度市が創設した「シニア世代交流の場づくり支援事業補助金」を活用し、ミュージックベル(ハンドベル)一式を購入し、「天女(てんにょ)ベルの会」として女性部員を中心に定期練習会などの交流活動を始めました。

7月7日には、天ヶ森会館に13名ほどが参加し定期練習会が行われ、文化部長で生涯学習推進員の小野寺公子さんの指導で、練習曲「鐘の音～トンプソンより」や「ぶんぶんぶん」「きらきら星」の曲を、それぞれ担当する音階のベルを片手に反復練習が行われていました。

最初は、音符とにらめっこしながらも、「手首のスナップを柔らかく」などの指導者の声に反応し、演奏も次第に滑らかとなり、終盤には、「家路」(ドボルザークの交響曲第9番「新世界より」)の曲にも挑戦していました。「天女ベルの会」は、当面「地区民芸大会」の出演を目指して定期活動を重ねています。



ハンドベルの練習会(天ヶ森会館)

奥玉地名発祥1300年記念事業実行委員会が発足 7/6

私たちの郷土である奥玉は、神亀3年（726年）の地名発祥から今年で1300年という大きな節目の年を迎えております。

この記念すべき歴史の大きな節目を地域全体で祝い、先人の歩みを振り返るとともに、未来の奥玉へその誇りをつなぐため、関係各位に呼びかけを行い、去る7月6日に準備会議を行い、同日「奥玉地名発祥1300年記念事業実行委員会」が発足しました。

記念事業の内容等は、桜の記念植樹、民芸大会での写真・パネル展示、記念アトラクションなど、今後具体的に検討が進められます。

実行委員長には、菅野政彦氏（奥玉振興協議会長）、副委員長に金安信氏（奥玉地元学研究会長）が選出されました。



1300年記念事業実行委員会

一関市博物館企画展「熊野信仰と一関～海からやってきた神様～」 櫻森神社の神輿も展示中！ 7/4～8/23

一関市博物館で開催中の企画展「熊野信仰と一関～海からやってきた神様～」に、櫻森神社の神輿も展示されています。

櫻森神社の神輿は、天保13年（1842年）に作られたもので、もともとは、室根神社にあり、マツリバ行事でも使われた本宮神輿でした。大正3年（1914年）に室根神社より吉萬正の代金をもって買受けたものと伝わっています。

この神輿の肩や台座の裏側には、神輿を制作した中尊寺の仏師や、神輿の修理に当たった人々の名前が墨書きで記されており、磐井郡や気仙郡など室根山近郊の人々だけでなく、遠田郡など宮城県北部からも協力した人々がいたことが今回明らかとなりました。この企画展は、8月23日まで開催中。



展示中の櫻森神社の神輿
（一関市博物館）

五穀豊穡を願い八坂神社の祭典「牛頭天王図」と「梵鐘」の特別拝観も 7/18～19

八坂神社（奥村国彦宮司）の祭典が7月18日、19日の両日行われました。「前夜祭」では「牛頭天王図（ごすてんのうず）」と「梵鐘（ぼんしょう）」の特別拝観が行われたほか、翌日は、地域住民の平安と健康や五穀豊穡を祈る神事のほか、「献膳（けんぜん）」や地元児童4名の舞姫による「浦安の舞」の奉納などの後、猛暑の中「神輿渡御（みこしとぎょ）」が行われ、地区内の仮宮まで往復練り歩きました。



この内、特別拝観（写真撮影は禁止）で展示された八坂神社の祭神とされる「牛頭天王図」と奥玉の鋳物業の歴史を紐解く「梵鐘」はいずれも貴重なもので、文化財や地元学に精通する方々の注目を集めていました。特に、梵鐘には「寛政12年（1800年）、冶工 大田幸七良」等の銘が残されており、奥玉村誌にも「鳴響優れ」と記録があるとおり、戦時による供出を奇跡的に免れた「幻の鐘」ではないかと推察され、今後の調査研究が待たれます。

（写真は、「浦安の舞」（左）と神輿渡御（上））



第72回 岩手県公民館大会「日本で一番美しい県は岩手県である」 7/31

岩手県公民館大会が、県内各地の公民館や社会教育施設、自治体職員、地域づくり関係者など約250人が参加し、7月31日にSWS東日本シビックホール一関（一関文化センター）で開かれました。

当協議会・奥玉市民センターからは、職員や生涯学習推進員等6名が参加し、三つの分科会に別れ、持続的な地域コミュニティの形成等について話し合いを行いました。



大東高校鹿踊部の演舞「鹿踊り」

大会では社会教育関係の表彰も行われ、当協議会の高橋静主査が社会教育功労職員表彰（勤続8年以上）を受賞しました。

また、アトラクションでは、大東高校鹿踊部10人の出演による鹿踊り演舞が披露されたほか、記念講演では、「日本で一番美しい県は岩手県である」と題し、朝日新聞仙台総局記者の三浦英之氏が講演を行いました。



県公民館大会での功労者表彰式

奥玉ふるさとまつり太鼓の練習会①～⑤小学生19名が参加 7/21～8/14

奥玉ふるさとまつりでの演奏発表をめざし、子どもたちによる太鼓練習が、今年も7月21日から8月14日まで全5回の日程で行われています。今年は、奥玉地区の小学生12名を含む19名が参加し、根山打ちばやし保存会（藤野文明会長）の皆さんの指導を受けながら、千蔵音頭と千蔵小唄を熱心に練習しています。



今年で4年目となるため、みな上達も早く、最初は大きな紙に書いた譜面を見ながら、バチさばきなど先生の演奏に合わせてくり返し練習。6年生4名は思い出づくりの「伝統芸能体験学習」も兼ねており、大太鼓での猛練習に励んでいます。

まつり当日は、地区民参加の盆踊りの音楽に合わせ、揃いの衣装（オレンジのビブス姿）で「太鼓演奏」を披露する予定です。

奥玉ふるさとまつり 踊りの練習会①～⑤も開催中

太鼓の練習と並行して同日「踊りの練習会」も開催しています。千蔵夏まつり参加に向けた練習会から引き続き、8月15日のふるさとまつりに向け、各自治会から参加頂きながら「千蔵音頭・小唄」に「奥玉音頭」も加え、練習に熱が入っています。各自治会には練習用のCDも配付しました。

各自治会からの参加者



千蔵赤十字奉仕団 奥玉保育園で草取り奉仕活動 園児との交流も 7/22

一関市千蔵赤十字奉仕団（五嶋秋子委員長）による草取り奉仕活動が、7月22日午前中に奥玉保育園で行われました。町内保育園への環境整備奉仕活動の一環として例年取り組んでいるもので、この日は、

会員など約30名が集合し、施設周辺の草刈りや園庭の草取り作業に、約1時間汗を流しました。

作業終了後は、園ホール内での園児との交流も行われ、夕涼み会でも元気に踊ったという「みぎかたあがり音頭」「月夜のボンチャラリン」の盆踊り披露に、参加者から拍手や声援が送られていました。



地域クラブ 一関サークルバンド・IESB ***活動拠点は奥玉***

市では、学校単位の「学校部活動」や「地域部活動」から、地域全体で中学生のスポーツや文化芸術活動を支える「地域クラブ活動」への展開を進めています。

部活動の地域展開の一例として、今年から藤沢中・東山中・室根中学校の3校吹奏楽部にIESBを加えた35名の「一関サークルバンド」が発足し、奥玉市民センターを活動拠点に毎週定期練習を行っています。

過日開催された第64回岩手県吹奏楽コンクールにも、唯一の地域クラブとして出場し、県南地区大会で「銀賞」、県大会で「銅賞」を受賞しました。

指導に当たる高野敏弘さんは、「活動場所として奥玉地区の施設を利用でき大変ありがたい。練習量は学校部活動と比べ圧倒的に少ないが、1・2年生が多いので、送迎など保護者の協力を頂きながら生徒の成長を見守りたい」と話していました。



奥玉を拠点に活動する「一関サークルバンド」の皆さん（千蔵維新館）